



7月2日、鳥羽市は災害時における宿泊施設等の提供に関する協定締結式を行いました。

この協定により、市内で地震などの災害が発生した際、神島、答志島、石鏡、国崎の各旅館組合が所有する施設を、市民のみなさんや観光客の避難所や避難場所として利用することが可能になります。

市長は「今回の協定は観光客の安心につながります。同じような取り組みを市内一面に広げていきたい」と述べました。

災害時における宿泊施設の提供



7月5日、鳥羽清港会が主催する「海の大掃除」が開催されました。

当日は392人のかたがボランティアで参加し、佐田浜周辺を中心に道路や海岸沿いのごみ拾いに汗を流しました。

NPO 法人中部日本潜水連盟のみなさんも活動に協力していただき、普段は見えない海の中まで潜って水底のゴミを回収してくれました。

陸と海の両方から鳥羽の豊かな自然を守るために、熱心な清掃活動が繰り広げられました。

鳥羽清港会「第46回海の大掃除」



7月4日、鳥羽水族館で地震と津波を想定した避難訓練が行われました。

これは、近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震への備えを万全にするために実施されたものです。当日は激しい揺れが発生したとの想定のもと、館内スタッフが来館者の安全を最優先に確保し、高台や安全な場所へと誘導する手順を確認しました。職員たちの迅速かつスムーズな誘導により、参加者全員が慌てることなく速やかに避難を完了しました。

日頃からの備えと、いざという時の連携の大切さを改めて実感する一日となりました。

鳥羽水族館で避難訓練を行いました



7月13日、株式会社ぎゅーとらと災害時における応急生活物資などの調達協力に関する協定を締結しました。

この協定により、災害時またはその恐れがある際、株式会社ぎゅーとらが所有する食品、飲料水、日用品などの応急生活物資の調達に関する協力を求めることができるようになります。

市長は「昨年度のカムチャツカ半島沖地震に伴う津波警報発表時の帰宅困難者の問題も含め、強い危機感を持っている。今回の協定は非常に心強い」と述べました。

災害時における応急生活物資の調達協力